

雲ふる

久保田万太郎作

文学座有志による自主企画公演
文学座創立80周年記念12月アトリエの会『かどで／舵』関連企画

2016年12月11日(日)~14日(水)
於 文学座新モリヤビル1階稽古場

主催 『雲ふる』を上演する会
題字 加藤 武

久保田万太郎 作 生田みゆき 演出

みぞれ

震ふる

12月11日(日) 18:00~

12日(月) 19:00~

13日(火) 16:00~

14日(水) 13:30~

17:00~

受付・開場は開演の30分前です。

入場料(税込) 一般 2,000円

ユースチケット 1,500円

※ユースチケットは25歳以下・当日要年齢証明

※全席自由・当日精算

ご予約開始日 11月14日(月) 11:00~

ご予約
お問合わせ 文学座 03-3351-7265
(11~17時/日・祝を除く)

会場 文学座新モリヤビル1階稽古場
(東京都新宿区信濃町10)
JR中央・総武線信濃町駅より徒歩5分
東京メトロ丸ノ内線四谷三丁目駅より徒歩9分

『震ふる』は文学座創立者の一人である久保田万太郎が、敗戦後直ちに執筆した作品。文学座の一員になるはずだった俳優友田恭介の戦死(昭和12年10月6日)とその妻で女優の田村秋子をモデルに、昭和18年の上海を舞台に描いている。

加藤武は『『震ふる』のピアニスト鹽田とし子に託して作者は田村秋子の執念を劇化した。』と、この作品の上演を希望していた。

文学座の過去の歴史を受け継ぎ、来年の創立80周年を目前に文学座の、そして日本の歩みを振り返ってみたい。



横山 祥二



神野 崇



清水 圭吾



上川路 啓志



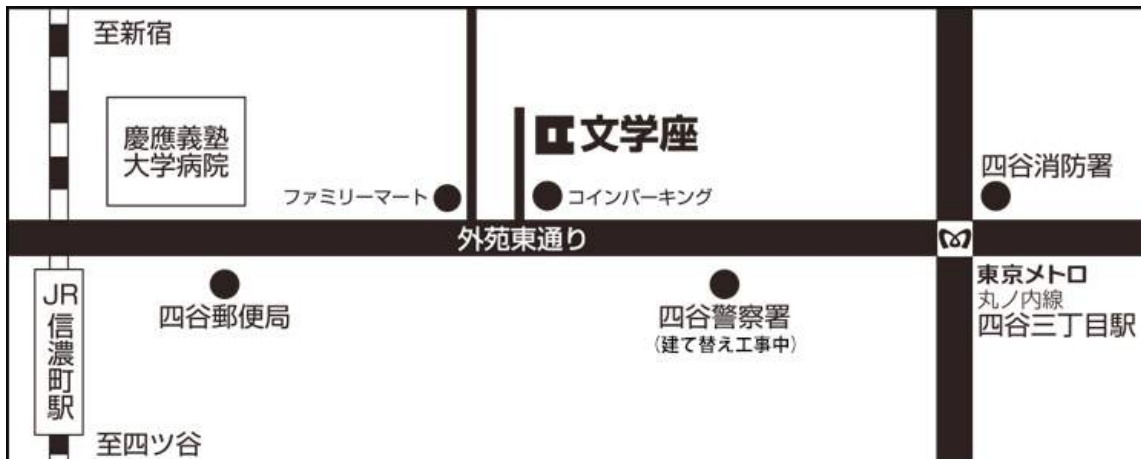
池田 倫太郎



常住 富大



永宝 千晶



協力 チラシデザイン 遠藤麻衣
音楽 矢澤弘章
映像 松澤延拓
音響 望月勲
照明 賀澤礼子
美術 乗峯雅寛

文学座企画事業部